

2019年度

# シラバス

6年次 課題別講義



日本大学松戸歯学部

## 2019年度 6年次前期 課題別講義

1. **実施時期**：2019年4月1日～6月30日

2. **一般目標(GIO)**：臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、歯科基礎医学的知識について習得する。

### 3. 講義実施要項

1) 講義教室：400 教室(学科目あるいは実施内容によっては変更する可能性あり)

2) 講義時間：4月は8:40～9:40、5・6月は9:00～12:00 (自修時間・確認テストを含む)

(ただし、平常試験当日の講義時間帯は13:00～16:00とする)

3) 当該学科目の講義当日に講義内容についての確認テスト(10分間)及びその解説(20分間)を実施する。

4月 17:40～18:10、5・6月 11:30～12:00、平常試験の日 15:30～16:00

### 4. 平常試験

MCQ形式の試験とする。なお、平常試験の追試験は行わない。

	分野(問題数)	合計	出題範囲
平常試験1 (4/15)	解剖学(5)、病理学(5)、組織学(5)、生理学(5)、生化学(5)、 歯科理工学(5)、微生物学(5)、薬理学(5)、衛生学(5)	45題	期間①など
平常試験2* (5/7)	解剖学(5)、組織学(5)、生理学(5)、生化学(5)、 歯科理工学(5)、微生物学(5)、薬理学(5)、衛生学(5)、 歯科総合診療学(5)	45題	期間②
平常試験3 (5/20)	解剖学(10)、病理学(10)、組織学(10)、生理学(10)、生化学 (10)、歯科理工学(10)、微生物学(10)、薬理学(10)、衛生学(20)	100題	期間③
平常試験4* (6/3)	解剖学(10)、病理学(10)、組織学(10)、生理学(10)、生化学 (10)、歯科理工学(10)、微生物学(10)、薬理学(10)、衛生学(20)	100題	期間④
平常試験5* (6/17)	解剖学(10)、病理学(10)、組織学(10)、生理学(10)、生化学 (10)、歯科理工学(10)、微生物学(10)、薬理学(10)、衛生学(20)	100題	期間⑤

### 5. 総合試験

MCQ形式の試験とする。

	分野(問題数)	合計	出題範囲
総合試験* (6/24)	解剖学(10)、病理学(10)、組織学(10)、生理学(10)、生化学(10)、 歯科理工学(10)、微生物学(10)、薬理学(10)、衛生学(15)、歯科 総合診療学(5)	100題	期間①～⑤

### 6. 追・再試験

MCQ形式の試験とする。

	分野(問題数)	合計	出題範囲
再試験* (6/29)	解剖学(10)、病理学(10)、組織学(10)、生理学(10)、生化学(10)、 歯科理工学(10)、微生物学(10)、薬理学(10)、衛生学(15)、歯科 総合診療学(5)	100題	期間①～⑤

\*医療行動科学9再試験と同日実施

## 6. 評価

平常試験 1～5(40%)及び総合試験(60%)で算出した正答率が 70%以上の者を課題別講義の合格者とする。不合格者には再試験を実施する。再試験の合格判定基準は正答率が 70%以上とし、総合試験及び平常試験結果を合格判定に加味できる。総合試験欠席者には追試験を実施することがある。

2019年度 課題別講義日程表  
 授業開始 4月8:40～、5・6月9:00～ (400教室)

月日	曜	講義(試験)時間	分野	期間	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者	
4月1日	月				ガイダンス				
4月2日	火	8:40~9:40 (17:40~18:10 確認テスト・解説)	解剖学	①	歯の形態	松野昌展	解剖学	佐々木佳世子、松野昌展	
4月3日	水		生化学		生体を構成する基本物質	平塚浩一	生化学・分子生物学	平塚浩一	
4月4日	木		歯科理工学		歯科材料・歯科生体材料の物理的および力学的性質、応力-ひずみ曲線	谷本安浩	歯科生体材料学	谷本安浩	
4月5日	金		薬理学		薬物の作用部位・作用機序①	松本裕子	薬理学	松本裕子	
4月7日	日								
4月8日	月	8:40~9:40 (17:40~18:10 確認テスト・解説)	病理学		先天異常	宇都宮忠彦	病理学	宇都宮忠彦	
4月9日	火		組織学		細胞および上皮組織の構造	玉村亮	組織学	玉村亮	
4月10日	水		衛生学		歯科疾患の予防・管理①	有川量崇	衛生学	田口千恵子	
4月11日	木		微生物学		自然免疫と獲得免疫	栗原紀子	感染免疫学	落合智子	
4月12日	金		生理学		自律神経の生理	加藤治	生理学	吉垣純子	
4月14日	日								
4月15日	月	8:40~9:40	平常試験 1						
4月16日	火	8:40~9:40 (17:40~18:10 確認テスト・解説)	解剖学		②	神経系総論・自律神経	松野昌展	解剖学	松野昌展
4月17日	水		口腔診断			医療面接と診療録記載	有川量崇	歯科総合診療学	多田充裕
4月18日	木		歯科理工学	歯科材料・歯科生体材料の化学的および生物学的性質、義歯床用材料		谷本安浩	歯科生体材料学	谷本安浩	
4月19日	金		生理学	内分泌の生理		加藤治	生理学	吉垣純子	
4月21日	日								
4月22日	月		生化学	エネルギー代謝とホメオスタシス		平塚浩一	生化学・分子生物学	平塚浩一	
4月23日	火	8:40~9:40 (17:40~18:10 確認テスト・解説)	組織学	支持組織(結合組織、筋組織および神経組織)の構造		玉村亮	組織学	玉村亮	
4月24日	水		衛生学	歯科疾患の予防・管理②		有川量崇	衛生学	田口千恵子	
4月25日	木		微生物学	微生物の基本的性状		栗原紀子	感染免疫学	栗原紀子	
4月26日	金		薬理学	薬物の作用部位・作用機序②		松本裕子	薬理学	松本裕子	
4月28日	日								
4月29日	月								
4月30日	火								
5月1日	水								
5月2日	木								
5月3日	金								
5月4日	土								
5月5日	日								
5月6日	月								
5月7日	火	9:00~11:00(講義は13:00~16:00)	平常試験 2、病理学		循環障害・退行性病変	宇都宮忠彦	病理学	宇都宮忠彦	
5月8日	水	9:00~11:00講義 (11:30~12:00 確認テスト・解説)	衛生学	③	保健医療総論①	有川量崇	保健医療政策学	笹井啓史	
5月9日	木		歯科理工学		印象材、合着・接着用材料、成形修復材料	谷本安浩	歯科生体材料学	岩崎太郎	
5月10日	金		生理学		循環調節の生理	加藤治	生理学	吉垣純子	
5月11日	土		解剖学		骨と筋	松野昌展	解剖学	五十嵐由里子	
5月12日	日								
5月13日	月		生化学		情報伝達と骨代謝	平塚浩一	生化学・分子生物学	平塚浩一	
5月14日	火	9:00~11:00講義 (11:30~12:00 確認テスト・解説)	組織学		結合(支持)組織、筋組織および神経組織の構造	玉村亮	組織学	玉村亮	
5月15日	水		衛生学		保健医療総論②	有川量崇	保健医療政策学	笹井啓史	
5月16日	木		微生物学		免疫異常(免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患)	栗原紀子	感染免疫学	落合智子	
5月17日	金		薬理学		適用方法、薬物動態	松本裕子	薬理学	松本裕子	
5月19日	日								
5月20日	月		9:00~10:40(13:00~16:00講義)		平常試験 3、病理学		進行性病変・炎症	宇都宮忠彦	病理学
5月21日	火	9:00~11:00講義 (11:30~12:00 確認テスト・解説)	解剖学		④	骨と神経・脈管	松野昌展	解剖学	五十嵐由里子
5月22日	水		衛生学			保健医療総論③	有川量崇	保健医療政策学	笹井啓史
5月23日	木		歯科理工学	模型材、ワックス、鋳造の要点、埋没材		谷本安浩	歯科生体材料学	谷本安浩	
5月24日	金		生理学	呼吸調節の生理		加藤治	生理学	吉垣純子	
5月26日	日								
5月27日	月		生化学	炎症と細胞外基質		平塚浩一	生化学・分子生物学	平塚浩一	
5月28日	火	9:00~11:00講義 (11:30~12:00 確認テスト・解説)	組織学	エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造		玉村亮	組織学	玉村亮	
5月29日	水		衛生学	健康管理・増進と予防①		有川量崇	衛生学	後藤田宏也	
5月30日	木		微生物学	感染の成立と発症、感染予防		栗原紀子	感染免疫学	栗原紀子	
5月31日	金		薬理学	鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬		松本裕子	薬理学	松本裕子	
6月2日	日								
6月3日	月		9:00~11:40(13:00~16:00講義)	平常試験 4、病理学			腫瘍・嚢胞	宇都宮忠彦	病理学
6月4日	火	9:00~11:00講義 (11:30~12:00 確認テスト・解説)	解剖学	⑤		全身の解剖学(人体の構造と機能概要)	松野昌展	解剖学	松野昌展
6月5日	水		衛生学			健康管理・増進と予防②	有川量崇	衛生学	後藤田宏也
6月6日	木		歯科理工学		陶材、陶材焼付用金属、歯冠用レジン、切削・研削・研磨材料、歯科用レーザー	谷本安浩	歯科生体材料学	岩崎太郎	
6月7日	金		生理学		興奮性細胞の生理学	加藤治	生理学	吉垣純子	
6月9日	日								
6月10日	月		生化学		歯と歯周組織および唾液の構成成分	平塚浩一	生化学・分子生物学	平塚浩一	
6月11日	火	9:00~11:00講義 (11:30~12:00 確認テスト・解説)	組織学		口腔粘膜および唾液腺の構造	玉村亮	組織学	玉村亮	
6月12日	水		衛生学		健康管理・増進と予防③	有川量崇	衛生学	後藤田宏也	
6月13日	木		微生物学		病原微生物と感染症	栗原紀子	感染免疫学	栗原紀子	
6月14日	金		薬理学		抗感染薬、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミン	松本裕子	薬理学	松本裕子	
6月16日	日								
6月17日	月		9:00~11:40		平常試験 5				
6月18日	火								
6月19日	水								
6月20日	木								
6月21日	金								
6月22日	土								
6月23日	日								
6月24日	月	9:00~11:40	総合試験						
6月25日	火								
6月26日	水								
6月27日	木								
6月28日	金								
6月29日	土	9:00~11:40	進・再試験						
6月30日	日								
7月1日	月								



講義日	時限	国試出題基準
04月02日	1時限	必修-5-A-e 総論-II-5-A-a 総論-II-5-A-b 総論-II-5-A-c 総論-II-5-A-d

---

担当者 佐々木 佳世子

テーマ： 歯の解剖学

授業の一般目標： 歯の種類と、その形態的特徴を学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) 歯の種類と記号を説明できる。
- 2) 永久歯の形態的特徴を説明できる。
- 3) 乳歯の形態的特徴を説明できる。
- 4) 歯種の鑑別ができる。
- 5) 歯の異常を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：歯の模型で歯冠の形、歯根の形と数を観察する。
- ・事前学修時間：45分
- ・事後学習項目：歯の種類とそれぞれの形態的特徴を覚える。
- ・事後学習時間：45分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月03日	1時限	必修-5-A-a

---

担当者 平塚 浩一

テーマ： 生体を構成する基本物質

授業の一般目標： 身体を構成する基本物質を理解するために、タンパク質・炭水化物・脂質等の構造や特徴を学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) タンパク質を構成するアミノ酸の構造と性状を説明できる。
- 2) 炭水化物の種類と特徴を説明できる。
- 3) 脂質の構造と特徴を説明できる。
- 4) ビタミンの種類とその欠乏症を説明できる。
- 5) エネルギー代謝経路を説明できる。
- 6) 脱アミノ反応、 $\beta$ 酸化、オルニチン回路を説明できる。
- 7) 酵素の特徴を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学修項目：既に配布されてるプリントを見直し不明な点を探しておくこと。
- 事前学修時間：1時間
- 事後学修項目：確認試験と解説. 配布したプリントの見直し。
- 事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
04月04日	1時限	必修-1 2-セ-a 総論-VIII-1-イ-a 総論-VIII-1-イ-b

---

担当者 谷本 安浩

テーマ： 歯科材料・歯科生体材料の物理的および力学的性質、応力-ひずみ曲線

授業の一般目標： 歯科材料・歯科生体材料を理解するために、それらの物理的および力学的性質について学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 金属材料、高分子材料、セラミック材料および複合材料の種類と性質について説明できる。
- 2) 歯科生体材料の物理的および力学的性質について説明できる。
- 3) 応力-ひずみ曲線について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。  
事前学修時間：30分  
事後学修項目：確認テストおよびその解説内容を整理する。  
事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月05日	1時限	必修-1 2-コ-a 総論-VII-8-ア-b

---

担当者 松本 裕子

テーマ： 薬物の作用部位・作用機序①

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、薬物の作用部位・作用機序に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) G蛋白質共役型受容体に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。
- 2) イオンチャネル内臓型受容体に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。
- 3) 酵素（キナーゼ）内臓型受容体に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。
- 4) 細胞質、核内受容体に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

・事前学修項目：「受容体に作用する薬物」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。  
・事前学修時間：60分  
・事後学修項目：確認試験と解説。授業時配布プリントの内容確認と整理。  
・事後学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準  
04月08日 1時限 必修-7-ア-b 総論-III-2-ア-a 総論-III-2-ア-g

---

担当者 \*宇都宮 忠彦

テーマ： 先天異常・奇形

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、先天異常及び奇形に関する病理学的知識について学修する。

到達目標SBOs：

- 1)以下の行動目標とその教授内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいている。
- 2)先天異常を分類できる。
- 3)遺伝障害について説明できる。
- 4)胎児障害について説明できる。
- 5)奇形の成り立ちについて説明できる。
- 6)口腔・顎・顔面領域の代表的な先天性疾患の特徴について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：  
・遺伝障害  
・胎児障害  
・症候群、特に色素沈着を認めるものと腫瘍を随伴するもの  
事前学修時間：30分  
事後学修項目：  
・先天異常・奇形：確認試験及び解説  
事後学修時間：30分

=====

講義日 時限 国試出題基準  
04月09日 1時限 必修-5-ア-d 必修-5-ア-c

---

担当者 玉村 亮

テーマ： 細胞および上皮組織の構造

授業の一般目標： 人体の構造を理解するために、細胞と上皮組織の構造について習得する。

到達目標SBOs：

- 1)真核細胞の構造を説明できる。
- 2)核の構造を説明できる。
- 3)細胞小器官を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。
- 4)細胞死の種類を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。
- 5)上皮組織を分類し、それぞれの形態学的特徴と存在部位について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：細胞の構造、上皮組織の構造  
事前学習時間：30分  
事後学修項目：細胞の構造、上皮組織の構造について配布プリントおよび確認試験にて復習  
事後学修時間：30分



講義日	時限	国試出題基準
04月10日	1時限	各論-Ⅱ-1-イ-a 各論-Ⅱ-1-イ-c 各論-Ⅱ-1-イ-d 各論-Ⅱ-1-イ-b

---

担当者 田口 千恵子

テーマ： 歯科疾患の予防・管理 ①

授業の一般目標： 適切な健康管理、増進を行うために、齲蝕の予防・管理について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 齲蝕の病因について説明できる。
- 2) 齲蝕活動性試験・評価について説明できる。
- 3) 代用甘味料について説明できる。
- 4) 齲蝕の予防手段について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目： 歯科疾患の予防・管理  
事前学修時間： 60分  
事後学修項目： 歯科疾患の予防・管理  
事後学修時間： 60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月11日	1時限	必修-5-ア-f 総論-Ⅱ-3-ア 総論-Ⅱ-3-イ 総論-Ⅱ-3-ウ 総論-Ⅱ-3-エ-a 総論-Ⅱ-3-エ-b

---

担当者 落合 智子

テーマ： 自然免疫と獲得免疫

授業の一般目標： 感染防御における免疫のしくみを理解するために、免疫機構の概要に関する知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 免疫担当臓器、細胞について説明できる。
- 2) 自然免疫について説明できる。
- 3) 獲得免疫について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目： 免疫組織及び担当臓器、自然免疫に関与する細胞・分子、獲得免疫（体液性免疫、細胞性免疫）について学修しておく。  
事前学修時間： 60分  
事後学修項目： 教科書、講義プリントの内容の復習  
事後学修時間： 60分

講義日	時限	国試出題基準
04月12日	1時限	必修-5-ア-e 総論-II-1-キ-d

---

担当者 吉垣 純子

テーマ： 自律神経の生理

授業の一般目標： 生体の神経性調節を理解するために、自律神経の機能を学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) 自律神経の特徴を説明できる。
- 2) 神経伝達物質を列挙できる。
- 3) 各臓器における自律神経の調節機能を説明できる。
- 4) 自律機能の中樞を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：神経の解剖学的走行について確認しておく。
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。
- ・事後学修時間：1時間

-----

講義日	時限
04月15日	1時限

---

担当者 6年次学年教育主任

テーマ： 平常試験1

授業の一般目標：

準備学修項目と準備学修時間：

講義日 時限 国試出題基準  
04月16日 1時限 総論-Ⅱ-4-カ-a

---

担当者 松野 昌展

テーマ： 神経系総論・自律神経

授業の一般目標： 末梢神経の機能と中枢との関係を理解するために神経系の概要と脳神経核と神経節の構造的機能的意味を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 中枢神経の区分と機能を説明できる。
- 2) 末梢神経の構造的、機能的区分を説明できる。
- 3) 脳神経核の構造と機能を説明できる。
- 4) 神経節の構造と機能を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：中枢神経を構成する各部の名称を復習する。脳神経の分布領域を復習する。
- ・事前学修時間： 30分
- ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。
- ・事後学習時間： 60分

=====

講義日 時限 国試出題基準  
04月17日 1時限 必修-9-ウ-a 必修-9-ウ-b 必修-9-ウ-c 必修-2-コ-a 必修-2-コ-b

---

担当者 \*多田 充裕

テーマ： 医療面接と診療録記載

授業の一般目標： 適切な医療を行うために、医療面接の技法およびPOSに基づく問題指向型診療録（POMR）の記載方法を理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」
- 2) 医療面接における質問法を説明できる。
- 3) 医療面接の目的を説明できる。
- 4) 非言語的コミュニケーションについて説明できる。
- 5) 面接者の適切な態度について説明できる。
- 6) POMRの構成要素を説明できる。
- 7) POMRの記載方法を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：医療面接（質問法、医療者の態度、非言語的メッセージ）  
診療録記載（POMR、SOAP）
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学修項目：授業時配布の確認シートを用いたレビュー
- ：事後学修時間：15分

講義日	時限	国試出題基準
04月18日	1時限	必修-12-セ-a 総論-VIII-1-イ-c 総論-VIII-1-イ-d 総論-VIII-6-ア-a 総論-VIII-6-ア-b 総論-VIII-6-オ 総論-VIII-6-カ 総論-VIII-7-ア-a

担当者 谷本 安浩

テーマ： 歯科材料・歯科生体材料の化学的および生物学的性質、義歯床用材料

授業の一般目標： 歯科材料・歯科生体材料を理解するために、それらの化学的および生物学的性質、義歯床用材料について学習する。

到達目標SB0s：

- 1) 歯科生体材料の化学的および生物学的性質、生体安全性について説明できる。
- 2) 義歯材料の種類、組成および性質について説明できる。
- 3) 義歯床用アクリルレジンの変形の原因およびその対策について説明できる。
- 4) 義歯床用裏装材の種類、組成および性質について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学修項目：SB0sについて教科書を確認する。
- 事前学修時間：30分
- 事後学修項目：確認テストおよびその解説内容を整理する。
- 事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月19日	1時限	総論-II-1-ク-a 総論-II-1-ク-b

担当者 吉垣 純子

テーマ： 内分泌の生理

授業の一般目標： ホルモンの役割と分泌制御機構を理解し、内分泌異常について説明できる。

到達目標SB0s：

- 1) 内分泌と外分泌の違いを説明できる。
- 2) ホルモンの種類と受容体を説明できる。
- 3) 内分泌による糖代謝調節を説明できる。
- 4) 内分泌によるカルシウム代謝調節を説明できる。
- 5) 内分泌による体液調節を説明できる。
- 6) 内分泌における視床下部の役割を説明できる。
- 7) ストレス応答における内分泌の役割を説明できる。
- 8) 内分泌異常の原因を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：内分泌器官と分泌されるホルモンの名称を復習しておく。
- ・準備学修時間：1時間
- ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。
- ・事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
04月22日	1時限	必修-5-A-a

---

担当者 平塚 浩一

テーマ： エネルギー代謝とホメオスタシス

授業の一般目標： エネルギー代謝を理解するために、ATP合成経路と恒常性を学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) エネルギー代謝経路を説明できる。
- 2) 脱アミノ反応、 $\beta$ 酸化、オルニチン回路を説明できる。
- 3) 酵素の特徴を説明できる。
- 4) 血糖値の調節を説明できる。
- 5) 血中カルシウム濃度の調節を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：既に配布されてるプリントを見直し不明な点を探しておくこと。  
事前学修時間：1時間  
事後学修項目：確認試験と解説. 配布したプリントの見直し。  
事後学修時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月23日	1時限	必修-5-A-d

---

担当者 玉村 亮

テーマ： 結合（支持）組織の構造

授業の一般目標： 人体の構造を理解するために、結合組織、軟骨組織の構造について習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 結合組織の分類を説明できる。
- 2) 結合組織を構成する線維を説明できる。
- 3) 結合組織に存在する細胞を説明できる。
- 4) 軟骨組織を分類し、それぞれの組織学的特徴および存在部位を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：結合組織、軟骨組織の構造  
事前学習時間：30分  
事後学修項目：結合組織、軟骨組織の構造について配布プリントおよび確認試験にて復習  
事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
04月24日	1時限	各論-Ⅱ-3-イ-a 各論-Ⅱ-3-イ-c 各論-Ⅱ-3-イ-b

---

担当者 田口 千恵子

テーマ： 歯科疾患の予防・管理 ②

授業の一般目標： 歯科疾患の予防・管理を行うために、歯周疾患の予防・管理、歯・口腔の不潔、機能・育成について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯周疾患の病因について説明できる。
- 2) 歯周疾患のリスク因子について説明できる。
- 3) 歯周疾患の予防手段について説明できる。
- 4) 歯の沈着物について説明できる。
- 5) 口腔ケアについて説明できる。
- 6) ライフステージにおける保健指導について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：歯周疾患の予防、歯の沈着物に関して学修しておく。
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：配布資料を軸に、歯周疾患の予防、歯の沈着物、口腔ケア、ライフステージにおける保健指導を整理する。
- ・事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月25日	1時限	必修-5-イ-b

---

担当者 栗原 紀子

テーマ： 微生物の基本的性状

授業の一般目標： 微生物について理解するために、形態学および生理学的特徴について学修する。

到達目標SBOs：

- 1) 細菌の基本的性状を説明できる。
- 2) 真菌の基本的性状を説明できる。
- 3) ウイルスの基本的性状を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：微生物の分類、細菌の構造物と機能、生理と代謝について学修しておく。
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：授業内容の復習
- ・事後学修時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
04月26日	1時限	必修-1 2-コ-a 総論-VII-8-A-b

---

担当者 松本 裕子

テーマ： 薬物の作用部位・作用機序②

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、薬物の作用部位・作用機序に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) イオンチャンネルを阻害する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。
- 2) トランスポーターを阻害する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。
- 3) 酵素阻害作用を有する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。
- 4) 化学的・物理化学的機序を有する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：「非受容体に作用する薬物」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：確認試験と解説。授業時配布プリントの内容確認と整理。
- ・事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月07日	1時限	必修-1-A-a

---

担当者 6年次学年教育主任

テーマ： 平常試験2

準備学修項目と準備学修時間：

講義日	時限	国試出題基準
05月07日	2時限	必修-7-ア-h 必修-7-ア-i

---

担当者 \*宇都宮 忠彦

テーマ： 循環障害・退行性病変

授業の一般目標： 病因と病態を理解するために、循環障害及び退行性病変に関する病理学的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 以下の行動目標とその教授内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいている。
- 2) 循環血液量の異常を列挙し、その病理学的特徴について説明できる。
- 3) 閉塞性循環障害を列挙し、その病理学的特徴について説明できる。
- 4) ショックの分類と病理学的特徴について述べることができる。
- 5) 側副循環の異常について解説できる。
- 6) 浮腫の成り立ちや病態について説明できる。
- 7) 萎縮の分類と代表的疾患について説明できる。
- 8) 変性の分類と代表的疾患について解説できる。
- 9) 細胞死（壊死、アポトーシス）について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目： ・循環血液量の異常(充血、うっ血、虚血、出血、側副循環の異常、ショック)  
・閉塞性循環障害(血栓、塞栓、梗塞、DIC) ・萎縮、変性、壊死の特徴  
事前学習時間：30分  
事後学修項目： ・循環傷害と退行性病変：確認試験と解説  
事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月08日	1時限	総論-I-4-ア-a

---

担当者 \*笹井 啓史

テーマ： 保健医療総論①

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 1. 社会保障の定義と制度体系について説明できる。
- 2) 2. 保健、医療、福祉（介護を含む）の各制度について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目： 社会保障制度  
事前学修時間：180分  
事後学修項目： 社会保障制度  
事後学修時間：180分



講義日	時限	国試出題基準
05月09日	1時限	必修-12-セ-c 必修-12-セ-h 必修-12-セ-e

---

担当者 岩崎 太郎

テーマ： 印象材、合着・接着用材料、成形修復材料

授業の一般目標： 印象材、合着・接着用材料および成形修復材料を理解するために、それらの基本的性質について学習する。

到達目標SBOs：

- 1)印象材の種類、組成および性質について説明できる。
- 2)合着・接着用材料の種類、組成および性質について説明できる。
- 3)成形修復材料の種類、組成および性質について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：SB0sについて教科書を確認する。  
事前学修時間：60分  
事後学修項目：確認テストおよびその解説内容を整理する。  
事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月10日	1時限	総論-II-1-U-b

---

担当者 吉垣 純子

テーマ： 循環調節の生理

授業の一般目標： 循環器の役割を理解し、循環調節を説明できる。

到達目標SBOs：

- 1)心臓の構造を説明できる。
- 2)刺激伝導系の構成と役割を説明できる。
- 3)体循環と肺循環の経路と違いを説明できる。
- 4)血管の種類と構造を説明できる。
- 5)心電図の意味を説明できる。
- 6)血圧の調節機構を説明できる。
- 7)循環器の加齢変化を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：血液・血球の役割を復習しておく。
- ・準備学修時間：1時間
- ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。
- ・事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
05月11日	1時限	必修-5-A-e

---

担当者 五十嵐 由里子

テーマ： 骨と筋

授業の一般目標： 頭蓋骨を構成する骨、咀嚼筋・表情筋・舌骨上筋群の起始停止・作用・支配神経を説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) 頭蓋骨を構成する骨の名称と構造を説明できる。
- 2) 咀嚼筋の名称・起始停止・作用・支配神経を説明できる。
- 3) 表情筋（頬筋）の起始停止・作用・支配神経を説明できる。
- 4) 舌骨上筋群の起始停止・作用・支配神経を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：頭蓋骨を構成する骨15種23個の名称を復習する。
- ・事前学修時間： 30分
- ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。
- ・事後学習時間： 30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月13日	1時限	総論-II-9-U-b 総論-II-9-U-c

---

担当者 平塚 浩一

テーマ： 情報伝達と骨代謝

授業の一般目標： 骨リモデリング機構を理解するためにカルシウム調節機構と骨芽細胞、破骨細胞の情報伝達の仕組みと働きを学習する。

到達目標SBOs：

- 1) カルシウム代謝に関連するホルモンとその働きを説明できる。
- 2) 骨芽細胞と破骨細胞の特徴を説明できる。
- 3) 骨吸収因子と骨形成因子を列挙できる。
- 4) 骨リモデリングに関与する骨芽細胞と破骨細胞の動きを説明できる。
- 5) 大理石病や閉経後骨粗鬆症の原因を説明できる。
- 6) 細胞周期の概念を説明できる。
- 7) 情報伝達物質の種類と受容体の関係を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学修項目：2年時配布したプリントを見直しておくこと。
- 事前学修時間：1時間
- 事後学修項目：確認試験と解説。配布プリントの見直し。
- 事後学修時間：1時間

講義日 時限 国試出題基準  
05月14日 1時限 必修-5-ア-d

---

担当者 玉村 亮

テーマ： 結合（支持）組織、筋組織および神経組織の構造

授業の一般目標： 人体の構造を理解するために、骨組織と血液の成分、筋組織および神経組織の構造について習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 骨組織に存在する細胞を列挙し、その構造と特徴を説明できる。
- 2) 骨組織の基本構造について説明できる。
- 3) 骨化様式および骨改造現象について説明できる。
- 4) 血液の成分を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。
- 5) 筋組織の種類とそれぞれの特徴について説明できる。
- 6) 神経組織を構成する細胞を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：骨組織と血液の成分、筋組織および神経組織の構造  
事前学習時間：30分  
事後学修項目：骨組織と血液の成分、筋組織および神経組織の構造について配布プリントおよび確認試験にて復習  
事後学修時間：30分

=====

講義日 時限 国試出題基準  
05月15日 1時限 必修-2-イ-a 必修-3-ア-a 必修-3-ア-b 必修-3-ア-c 必修-3-ア-d

---

担当者 \* 笹井 啓史

テーマ： 保健医療総論②

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯科医師法等歯科医師の法的義務について説明できる。
- 2) 医療関係職種の各身分に関する関係法規について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：歯科医師法他医療関係職種各身分法  
事前学修時間：180分  
事後学修項目：歯科医師法他医療関係職種各身分法  
事後学修時間：180分

講義日	時限	国試出題基準
05月16日	1時限	総論-Ⅲ-1-キ-a 総論-Ⅲ-1-キ-b 総論-Ⅲ-1-キ-c 総論-Ⅲ-1-キ-d

---

担当者 落合 智子

テーマ： 免疫異常（免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患）

授業の一般目標： 免疫疾患を理解するために、免疫異常（免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患）に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 免疫不全について説明できる。
- 2) アレルギーの種類、発症機序を説明できる。
- 3) 自己免疫疾患の種類、発症機序を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

準備学修項目：免疫不全の種類、アレルギーの種類、発症機序、自己免疫疾患の種類、発症機序を学修しておく。

準備学修時間：60分

事後学修項目：教科書、講義プリントの内容の復習

事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月17日	1時限	必修-1 2-コ-b 総論-VII-8-ア-c 総論-VII-8-イ-a

---

担当者 松本 裕子

テーマ： 適用方法、薬物動態

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、適用方法、薬物動態に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 適用方法の種類と特徴を説明できる。
- 2) 吸収、分布、代謝、排泄を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：「適用方法、薬物動態」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：確認試験と解説。授業時配布プリントの内容確認と整理。
- ・事後学修時間：60分

講義日 時限  
05月20日 1時限

---

担当者 6年次学年教育主任

テーマ： 平常試験3

準備学修項目と準備学修時間：

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月20日	2時限	必修-7-ア-j 必修-7-ア-d

---

担当者 \*宇都宮 忠彦

テーマ： 進行性病変・炎症

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、進行性病変及び炎症に関する病理学的知識について学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) 以下の行動目標とその教授内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいている。
- 2) 肥大、過形成(増生)、化生について分類し、説明できる。
- 3) 再生の基本について解説できる。
- 4) 創傷治癒と異物処理について解説できる。
- 5) 炎症の定義を述べることができる。
- 6) 急性炎症と慢性炎症の特徴及び相違点を解説できる。
- 7) 炎症の病理組織学的分類と特徴について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目： ・肥大・過形成、再生、化生の特徴 ・創傷治癒機序、物の処理機構  
・炎症の分類と病理学的特徴

事前学修時間：30分

事後学修項目： ・進行性病変と炎症：確認試験・解説

事後学修時間：30分

講義日 時限 国試出題基準  
05月21日 1時限 必修-5-ア-e

---

担当者 五十嵐 由里子

テーマ： 骨と神経・脈管

授業の一般目標： 頭蓋骨を構成する骨・脳神経の通路・外頸動脈の枝の通路を説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) 頭蓋骨を構成する骨の名称と構造を説明できる。
- 2) 脳神経の通路と脳神経が通る頭骨の孔を説明できる。
- 3) 外頸動脈の枝の通路と顎動脈が通る頭骨の孔を説明できる。
- 4) 翼口蓋窩と構造が説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：脳神経と顎動脈が通る頭骨の孔を復習する。
- ・事前学修時間： 30分
- ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。
- ・事後学修時間： 30分

=====

講義日 時限 国試出題基準  
05月22日 1時限 必修-2-イ-h 総論-I-4-ア-b 総論-I-4-ア-c

---

担当者 \* 笹井 啓史

テーマ： 保健医療総論③

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。

到達目標SBOs：

- 1) 我が国の社会保障制度を踏まえた医療保険制度を説明できる。
- 2) 医療保険制度における医療費の動向を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学修項目：医療保険制度、医療経済
- 事前学修時間：180分
- 事後学修項目：医療保険制度、医療経済
- 事後学修時間：180分

講義日	時限	国試出題基準
05月23日	1時限	必修-12-セ-d 総論-VIII-4-ア-a 総論-VIII-4-イ-a 総論-VIII-7-ウ-a 総論-VIII-7-ウ-b 総論-VIII-7-ウ-c

---

担当者 谷本 安浩

テーマ： 模型材、ワックス、鑄造の要点、埋没材

授業の一般目標： 精度の良い鑄造体を作製するための方法を理解するために、模型材、ワックス、埋没材および歯科精密鑄造について学習する。

到達目標SB0s：

- 1) 歯科用石膏の種類、組成および性質について説明できる。
- 2) 歯科用ワックスの種類、組成および性質について説明できる。
- 3) ワックスパターンの変形の原因およびその対策について説明できる。
- 4) 鑄造用埋没材の種類、組成および性質について説明できる。
- 5) 歯科精密鑄造の原理と鑄造欠陥の発生原因およびその対策について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：SB0sについて教科書を確認する。  
事前学修時間：60分  
事後学修項目：確認テストおよびその解説内容を整理する。  
事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月24日	1時限	総論-II-1-ウ-a

---

担当者 吉垣 純子

テーマ： 呼吸調節の生理

授業の一般目標： 呼吸の調節機構を理解するために、呼吸器の構成と酸素運搬機構を学ぶ。

到達目標SB0s：

- 1) 外呼吸と内呼吸を説明できる。
- 2) 呼吸筋とその役割を列挙できる。
- 3) 肺気量の種類を説明できる。
- 4) ヘモグロビンの酸素解離曲線を説明できる。
- 5) 血漿pHにおける重炭酸緩衝系の役割を説明できる。
- 6) 血漿pHの異常と成因を説明できる。
- 7) 呼吸機能の加齢変化を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：呼吸器の構造を理解しておく。
- ・準備学修時間：1時間
- ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。
- ・事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
05月27日	1時限	必修-7-ア-d 必修-5-ア-d 必修-7-ア-d 総論-III-1-オ-a

---

担当者 平塚 浩一

テーマ： 炎症と細胞外基質

授業の一般目標： 炎症の発症と細胞外基質の役割を理解するために、炎症性ケミカルメディエーターと外基質の種類と特徴を学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) 細胞外基質を列挙できる。
- 2) 細胞接着配列を説明できる。
- 3) コラーゲン・ラミニン・プロテオグリカンの違いを説明できる。
- 4) コラーゲンの合成過程および分解過程を説明できる。
- 5) MMPの種類と特徴を説明できる。
- 6) 炎症性ケミカルメディエーターの種類を列挙できる。
- 7) アミン類やキニン類の合成と特徴を説明できる。
- 8) サイトカインの定義と種類を説明できる。
- 9) エイコサノイドおよびPAFの合成を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：2年時・4年時に配布したプリントを見直しておくこと。  
事前学修時間：1時間  
事後学修項目：確認試験と解説。配布プリントの見直し。  
事後学修時間：1時間

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月28日	1時限	総論-II-5-イ-a 総論-II-5-イ-b

---

担当者 玉村 亮

テーマ： エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造

授業の一般目標： 人体の構造を理解するために、エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造を説明できる。
- 2) エナメル質、セメント質および象牙質の成長線を説明できる。
- 3) エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の加齢変化を説明できる。
- 4) 歯髄を構成する細胞成分および線維成分を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造  
事前学習時間：30分  
事後学修項目：エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造について配布プリントおよび確認試験にて復習  
事後学修時間：30分



講義日	時限	国試出題基準
05月29日	1時限	総論-I-9-A-c

---

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 健康管理・増進と予防①

授業の一般目標： 適切な健康管理を行うために、感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について理解する。

到達目標SBOs：

1)環境保健について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：健康管理・増進と予防

事前学修時間：60分

事後学修項目：健康管理・増進と予防

事後学修時間：60分

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月30日	1時限	総論-III-1-カ-b

---

担当者 栗原 紀子

テーマ： 感染の成立と発症、感染予防

授業の一般目標： 微生物による感染症と感染防御を理解するために、感染の成立から疾患を発症するまでの過程と病原因子、また滅菌と消毒および化学療法について学習する。

到達目標SBOs：

- 1)感染経路と感染成立までの過程を説明できる。
- 2)感染の種類と病原因子を説明できる。
- 3)細菌性食中毒を説明できる。
- 4)滅菌と消毒の種類と方法・適応を説明できる。
- 5)化学療法の目的と化学療法薬の作用機序を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：感染成立までの過程、感染経路、滅菌と消毒、化学療法について学修しておく。
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：授業内容の復習
- ・事後学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準  
05月31日 1時限 総論-VII-8-ウ-a 総論-VII-8-ウ-b 総論-VII-8-ウ-f

---

担当者 松本 裕子

テーマ： 鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1)麻薬性・非麻薬性鎮痛薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 2)ステロイド性抗炎症薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 3)非ステロイド性抗炎症薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 4)抗アレルギー薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 5)止血薬、抗血栓薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：「鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。
- ・事前学修時間：60分
- ・事後学修項目：確認試験と解説。授業時配布プリントの内容確認と整理。
- ・事後学修時間：60分

-----  
講義日 時限  
06月03日 1時限

---

担当者 6年次学年教育主任

テーマ： 平常試験4

準備学修項目と準備学修時間：

講義日	時限	国試出題基準
06月03日	2時限	必修-7-ア-g 必修-7-イ-i 必修-7-イ-j 総論-Ⅲ-1-ク-a 総論-Ⅲ-1-ク-c 総論-Ⅲ-1-ク-d 総論-Ⅲ-1-ク-e 総論-Ⅲ-1-ク-f

担当者 \*宇都宮 忠彦

テーマ： 腫瘍・嚢胞

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、腫瘍及び嚢胞の病理学的知識を修得する。

到達目標SBOs：

- 1)以下の行動目標とその教授内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいている。
- 2)腫瘍の定義について述べることができる。
- 3)腫瘍の病理組織学的分類について説明できる。
- 4)腫瘍発生の諸段階と転移について説明できる。
- 5)口腔・顎・顔面領域に後発する代表的な腫瘍の病理学的特徴について解説できる。
- 6)嚢胞の定義と分類について説明できる。
- 7)嚢胞の病理組織学的特徴について解説できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：・腫瘍の定義 ・腫瘍の病理組織学的分類 ・良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別  
 ・嚢胞の分類と病理組織学的特徴  
 事前学修時間：30分  
 事後学修項目：・腫瘍と嚢胞：確認試験及び解説  
 事後学修時間：30分

講義日	時限	国試出題基準
06月04日	1時限	必修-5-ア-e

担当者 松野 昌展

テーマ： 全身の解剖学（人体の構造と機能概要）

授業の一般目標： 全身の器官系の構成を理解することにより構造と機能に関する基礎的な知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1)消化器系の構成を説明できる。
- 2)呼吸器系の構成を説明できる。
- 3)泌尿器系の構成を説明できる。
- 4)循環器系の構成を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・事前学修項目：各器官系を構成する器官の名称を復習する。
- ・事前学修時間：30分
- ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。
- ・事後学習時間：60分

講義日	時限	国試出題基準
06月05日	1時限	総論-I-7-ア-b

---

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 健康管理・増進と予防②

授業の一般目標： 適切な健康管理を行うために、感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 感染症対策について説明できる。
- 2) 国民栄養と食品保健について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：健康管理・増進と予防  
事前学修時間：60分  
事後学修項目：健康管理・増進と予防  
事後学修時間：60分

---

講義日	時限	国試出題基準
06月06日	1時限	必修-1-2-セ-b 総論-VIII-6-イ-a 総論-VIII-2-ア-b 総論-VIII-2-ア-c 総論-VIII-2-ア-d 総論-VIII-2-イ 総論-VIII-6-ウ-c 総論-VIII-7-イ-a

---

担当者 岩崎 太郎

テーマ： 陶材、陶材焼付用金属、歯冠用レジン、切削・研削・研磨用材料、歯科用レーザー

授業の一般目標： 陶材、陶材焼付用金属、歯冠用レジン、切削・研削・研磨用材料、歯科用レーザーについて理解するために、それらの基本的性質について学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯科用セラミックスの種類、組成および性質について説明できる。
- 2) 陶材と金属の接合について説明できる。
- 3) 歯冠用レジンの種類、組成および性質について説明できる。
- 4) 切削・研削・研磨用材料の種類、組成および性質について説明できる。
- 5) エアータービンおよびマイクロモータの特徴について説明できる。
- 6) 歯科用レーザーの種類および特徴について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。  
事前学修時間：60分  
事後学修項目：確認テストおよびその解説内容を整理する。  
事後学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準  
06月07日 1時限 総論-Ⅱ-1-キ-a

---

担当者 吉垣 純子

テーマ： 興奮性細胞の生理

授業の一般目標： 神経と筋肉の働きを理解するために、膜電位と興奮伝導・伝達のメカニズムを学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) 静止膜電位の成立機構を説明できる。
- 2) 活動電位の発生メカニズムを説明できる。
- 3) 神経、骨格筋、心筋の活動電位の違いを説明できる。
- 4) 細胞外電極法と細胞内電極法を説明できる。
- 5) 神経線維の種類と役割を説明できる。
- 6) 興奮伝達のメカニズムを説明できる。
- 7) 主な神経節の名称と役割を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- ・準備学修項目：細胞内外のイオン組成を復習しておく。チャネルとポンプの役割を理解しておく。
- ・準備学修時間：1時間
- ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。
- ・事後学修時間：1時間

=====

講義日 時限 国試出題基準  
06月10日 1時限 総論-Ⅱ-5-イ-a 必修-5-イ-c 総論-Ⅱ-5-イ-a 総論-Ⅱ-5-イ-b 総論-Ⅱ-6-オ-a

---

担当者 平塚 浩一

テーマ： 歯と歯周組織および唾液の構成成分

授業の一般目標： 口腔の機能を理解するために、歯と唾液および歯周組織の特徴を学ぶ。

到達目標SBOs：

- 1) エナメル質の無機質・有機質の種類と特徴を説明できる。
- 2) 象牙質の有機質の種類とその特徴を説明できる。
- 3) 歯肉の代謝の特徴を説明できる。
- 4) 唾液緩衝作用・抗菌因子に関連する因子を列挙し機能を説明できる。
- 5) 唾液の消化酵素について説明できる。
- 6) 唾液の粘性と血液型判定について説明できる。
- 7) 唾液と歯肉溝滲出液の成分の違いを説明できる。
- 8) 歯肉の抗菌因子を説明できる。
- 9) 血清タンパク質の種類とその機能を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

- 事前学修項目：2年時配布したプリントを見直しておくこと。
- 事前学修時間：1時間
- 事後学修項目：確認試験と解説。配布プリントの見直し。
- 事後学修時間：1時間

講義日	時限	国試出題基準
06月11日	1時限	総論-Ⅱ-4-オ-a 総論-Ⅱ-1-ア-a 総論-Ⅱ-4-オ-b

---

担当者 玉村 亮

テーマ： 口腔粘膜および唾液腺の構造

授業の一般目標： 人体の構造を理解するために、口腔粘膜および唾液腺の構造を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 口腔粘膜の構造を説明できる。
- 2) 口腔粘膜の機能的分類とそれぞれの特徴や該当部位を説明できる。
- 3) 唾液腺の構造を説明できる。
- 4) 口腔粘膜および唾液腺の加齢変化を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：口腔粘膜および唾液腺の構造

事前学習時間：30分

事後学修項目：口腔粘膜および唾液腺の構造について配布プリントおよび確認試験にて復習

事後学修時間：30分

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月12日	1時限	総論-I-6-イ-b

---

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 健康管理・増進と予防③

授業の一般目標： 適切な健康管理を行うために、人口・保健統計とその応用について理解する。

到達目標SBOs：

- 1) 人口統計について説明できる。
- 2) 保健統計について説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：健康管理・増進と予防のための人口・保健統計について概説できる。

事前学修時間：60分

事後学修項目：健康管理・増進と予防のための人口・保健統計について説明できる。

事後学修時間：60分

講義日 時限 国試出題基準  
06月13日 1時限 総論-Ⅲ-1-カ-b

---

担当者 栗原 紀子

テーマ： 病原微生物と感染症

授業の一般目標： 微生物感染症について理解するために、感染症の種類と起因する微生物について学修する。

到達目標SBOs：

- 1) 細菌感染症の種類と起因する細菌を説明できる
- 2) 真菌感染症の種類と起因する真菌を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

事前学修項目：病原微生物と関与する感染症について学修しておく。

事前学修時間：60分

事後学修項目：授業内容の復習

事後学修時間：60分

=====

講義日 時限 国試出題基準  
06月14日 1時限 総論-VII-8-ウ-c 総論-VII-8-ウ-d 総論-VII-8-ウ-e

---

担当者 松本 裕子

テーマ： 抗感染症薬、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミン

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、抗感染症薬、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミンに関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 2) 消毒薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 3) 抗腫瘍薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 4) ビタミン製剤を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。
- 5) 硬組織代謝改善治療薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。

準備学修項目と準備学修時間：

・事前学修項目：「抗感染症薬、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミン」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。

・事前学修時間：60分

・事後学修項目：確認試験と解説。授業時配布プリントの内容確認と整理。

・事後学修時間：60分

講義日            時限  
06月17日        1時限

---

担当者        6年次学年教育主任

テーマ：      平常試験5

準備学修項目と準備学修時間：

-----  
講義日            時限  
06月24日        1時限

---

担当者        6年次学年教育主任

テーマ：      総合試験

準備学修項目と準備学修時間：





学生番号 \_\_\_\_\_ (院内番号) \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_